

広島に行つて

六年一組 中野 祐太

みなさんは、爆弾と聞いてどんな物を想像しますか。爆竹やマンガ、ゲームに出てくる物を想像しましたか。原爆はそのような物とは違い硝子も溶かす熱線。もとは立派な原爆ドームを今の姿にした爆風。72年たった今も被爆者の体を蝕み続ける放射能。これらの被害をもたらす恐しい爆弾でした。

考えてみて下さい。みなさんは火傷した事

がありますか。あれが体中に起こり、水分が蒸発してのどが異常にかわく状況を。考えてみて下さい。ひなたにいた家族は焼け死に、死体で川がうまる様子を。考えてみて下さい。周りの人がバタバタ死んでいく中、自分がいつ放射能の餌食になるのか分からない恐怖を。このような事を広島は教えてくれました。溶けたビン、焼けこげたかわら、遺品の血がしみた服、被爆者の写真、生存者のかいた絵が二度と原爆のひげきをくり返してはならない

い事を目に見える形で教えてくれました。

最後に、世界遺産の宮島も見学でき、他の  
学校の人とも交流できて、とても有意義な二  
日間となりました。今後もこの事業が続いて  
いくとうれしいです。